

有害駆除における鹿の廃棄処分とその問題

はじめに

- 日本では、農作物や森林への被害を防ぐために、ニホンジカの駆除が行われています。
- 捕獲された鹿の多くは、適切な処理が行われずに廃棄されているのが現状です。
- 廃棄処分の主な方法は、山中での埋設です。
- ジビエとしての利用は進んでいるものの、全体の数割にとどまっています。
- **廃棄処分には、臭気の発生や他の動物の誘引といった問題があり、環境への影響も懸念されています。**

廃棄処分の現状

- 捕獲された鹿の多くは、山中で埋設されている。
- 埋設は、捕獲者に大きな負担を強いる方法である。
- 埋設以外の方法としては、焼却や化製処理があるが、利用は限定的である。

廃棄処分の課題

- **埋設処分は、臭気の発生や他の動物の誘引が問題となる。**
- **埋設の影響が水や土壌に与える影響が懸念されている。**
- 捕獲個体の処理には、労力とコストがかかる。
- **処理方法の選択には、法令遵守が求められる。**

環境への影響

- 埋設処分は、周辺環境に悪影響を及ぼす可能性がある。
- 臭気や他の動物の誘引が、地域住民にとって問題となる。
- 水質や土壌への影響が懸念されている。
- 適正な処理が行われない場合、環境保全上の問題が生じる。

株式会社央戸では

- 捕獲個体の処理を化製場で処分する方法をご提案します。
- 一頭当たりの処分費用は、輸送費 10, 000 円(税抜き)+処理費 2, 200(税抜き)です。
輸送費は、頭数・引取り方法など等でご相談うけますのでご検討ください。

《産業廃棄物収集運搬許可証》

宮城県許可番号 0418041989
福島県許可番号 00707041989
岩手県許可番号 003000041989
山形県許可番号 0609041989
青森県許可番号 00201041989
秋田県許可番号 00504041989
新潟県許可番号 01509041989